

令和2年9月18日

保護者のみなさんへ

名護市教育委員会
教育長 岸本 敏孝
(公 印 省 略)

名護市立真喜屋小学校
校長 新城 高樹
(公 印 省 略)

学校と地域に関するアンケート調査の回答について(お願い)

保護者の皆様におかれましては、名護市教育行政に御理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、名護市の小・中学校では、学校と地域がともに子ども達を育む仕組みとしてコミュニティ・スクール※の導入を市内小・中学校で進めております。表題のアンケート調査を実施しコミュニティ・スクールの推進するにあたり基礎資料として活用させていただきたく存じます。つきましては、ご多忙のこととは存じますがアンケート調査のご協力のほどお願い申し上げます。なお、ご回答いただく項目には個人が特定されるような内容は含まれておりません。

調査実施方法:ウェブアンケート

回 答 方 法:下記QRコードの読み込み又は下記URLからご回答お願いします。

回 答 期 限:令和2年10月2日(金)まで

所 要 時 間:7分程度

アンケートの回答はこちらから



<https://forms.gle/BR345DfT1JDUYa5A9>

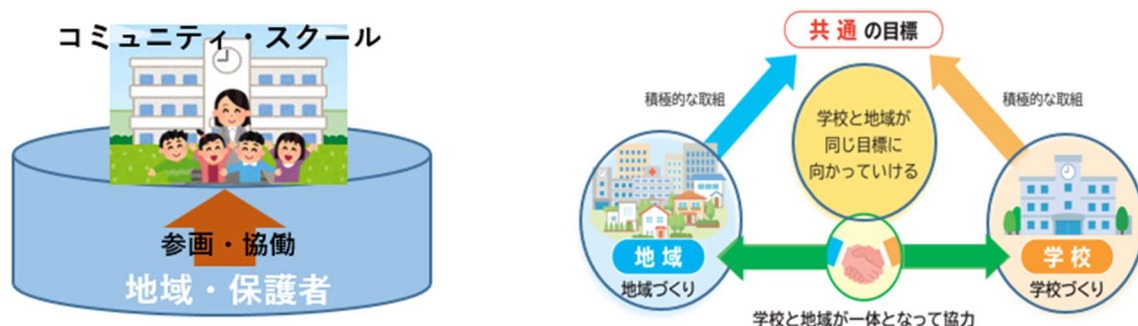
※コミュニティ・スクールとは…

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。

お問合せ先
名護市立真喜屋小学校
担当:教頭 宮里 匠哲
電話:0980-58-1251

なぜコミュニティ・スクールが必要なの？

子どもたちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中、地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりで育まれていきます。また、地域においては、目まぐるしく変化していく社会に対応し、地域の課題を解決できる人材が必要となります。



学校と地域がパートナーとなることで・・・

保護者・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感をもち、積極的に子供の教育に携わるようになる。

- 近所に元気のない様子の子供がいても、なかなか声をかけることができない
- 子供のマナーについて学校へ苦情の電話



- 積極的な声掛けや自ら指導する機会が増える
- 学校任せではなく、地域が学校とともに対策を考える

保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、生きがいにつながり、子供たちの学びや体験が充実。

- 自分の経験を生かして学校や子供のサポートをしたいが、迷惑にならないか
- 地域の人と関わる機会が減ってきている
- 地域人材を活用した学習が単発で終わってしまう



- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現する
- 学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になる
- 地域の創意工夫や特性を生かすことで、学校での学びがより豊かで広がりを持つようになる

保護者・地域住民等と学校が“顔が見える”関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現。

- 一方的な意見が数多く学校に寄せられる
- 学校が保護者や地域住民の様々な要望の対応に追われている



- 学校の現状や方針への理解が深まり、地域が学校の応援団になる
- 地域の協力により教職員が子供と向き合う時間が増える

その他にも・・・

学校と地域の協力体制が築かれることで、生徒指導、防犯、防災等の面でも課題解決に向けて効果が期待されます。